

「東日本大震災3.11の集い」

宮城県亶理町に思いを寄せてを峰が丘講堂で開催

宇都宮大学は“復幸”に貢献する人材の育成という教育方針の下、東日本大震災被災者支援の学生ボランティア活動を現在も継続的に実施しています。

宇都宮大学は2011年秋から宮城県亶理町に何度も学生をボランティアとして派遣しました。そこで多くの学生が現地に行かなければわからない被災地の現状、復興しながらもなかなか進まないもどかしさを感じてきました。そんな学生たちが、被災地のことを忘れてほしくない思いから、震災以降何度もうかがっている亶理町に焦点をあてた集いを平成26年3月2日に、地域の方々や学生・教職員40名が集まり東日本大震災から3年を振り返って、峰が丘講堂で開催しました。

学生たちの進行により、第一部として宮城県亶理町復興支援活動報告の後、亶理町を中心に被災者の1年を描いたドキュメンタリー作品『傍（かたわら）～3.11からの旅』（いせFILM 作成、伊勢真一監督）を上映しました。また第二部として『傍』にも登場していた亶理町在住のシンガーソングライター 苜米地サトロさんによるトーク&ライブを行いました。参加者たちは、今後も引き続き復興支援ボランティア活動を実施していくことを誓って閉会しました。

